

平成25年度

女川町まちづくりワーキンググループ

第2回 定例会だより

専門家による講義と意見交換会が行われました！

復興まちづくりに、町民が主体的に参加することを目的に、昨年度設立した『まちづくりワーキンググループ（以下、WG）』で、今年度は、昨年度の提言書をベースにした主要4テーマ（運動公園、公共施設、教育環境、観光交流エリア、）を中心に、具体化に向けた議論を行います。第2回目の定例会は「まち育て」の専門家である北原啓司氏を講師としてお招きして9月3日（火）に開催されました。



講師：北原啓司 氏
(弘前大学教育学部附属学部長・教授)

第2回全体定例会開催概要

専門家による講義【ゼロからの「まち育て」～「まち育て」ってなに？～】

- ◆「まちづくり」は、まちを育てていく「まち育て」の発想が大切です。
- ◆まちを料理に例えると、つくってもらった料理（まち）をたべる人（住民）が「おいしい、まずい」と評価するだけではなく、たべる人（住民）が、料理（まち）をつくる人に対して、「こうしたらもっとおいしい料理なる」と助言や素材を提供して一緒につくっていく新しい関係を築くことが必要です。
- ◆「まち育て」には地図のようにまちを見た「上から目線」も大事ですが、実際にその場所で何が体験できるのか、といったまちをたべる人の「身の丈目線」が大切です。
- ◆仮設住宅の空間も人生の中ではかけがえのない場所です。仮設も、その次の空間も育てて、自分たちの場所にしていきましょう。
- ◆ワークショップは人と意見の違うことを楽しむ時間です。地域のいろいろな人々の考えやアイデアを聞きながら、一緒に問題を解決していくのが、ワークショップのいいところです。

★これからの参加 …まちを「たべる」ための参加



「つくる」人と「たべる」人との新しい関係

参加は武器(イベント)ではなく、**こだわり**

「たべる」人の誇りと責任

13

★仮設であっても、私の「場所」をつくれるはず

何故なら、仮の「空間」であっても

皆さんの人生の中では、現実の「場所」なんです

○仮設住宅から、入学式に出た子もいます

○仮設住宅で、新婚生活を始めた人もいます

○大事な人生の最期を迎えた人もいます

だから、まぎれもなく、

いま皆さんがいるところは、「場所」なんです

自分たちの想いを伝えていい「場所」なんです

「空間」を「場所」に変えていきましょう！

47

専門家との意見交換会



「まち育て」についての講義を受けた後で、北原氏との意見交換会を行いました。今後どのように検討を進めていけばよいのか、活発な意見交換が交わされました。

Q: WG では、被災前の女川のイメージも強く残る中で、それを取り払って自由な意見を出すべきでしょうか？

(北原氏) 被災前のイメージを踏まえ、前に足りなかったもの・不要だったものや、これから見たい女川の風景を考え直すと良いと思います。人間をもつての女川らしさであり、このようにみなさんで一緒に将来像を考えていくことで女川らしくなっていくと思います。

例えば小中一貫校の話なら、学校をどのようにつくるかよりも、一貫校にすることで女川にどんな意味があるのかを考えると良いと思います。それもただ集まって議論するのではなく、教育の関係者やプロの方、現場の方をお呼びし勉強して一緒に議論すると良いのではないのでしょうか。

Q: 公共施設はつくった後に使われ方が変化するので、どれくらい先まで考えればよいのか難しく感じています。

(北原氏) 建築物をつくるときに完全に未来を想定することは不可能です。ある程度施設のつくりかたに余白を残し、時勢にあわせて使い方を変えていけると良いと思います。使いながら施設を評価し間取り等を変化させていく考え方はアメリカでは POE (Post Occupancy Evaluation: 入居後施設評価法) と言って一般的です。施設をつくることから、どう見直していくかを考えておくが良いでしょう。

Q: 4つの検討テーマが別々に議論する中で、女川町の1つのイメージをつくっていくためにはどうすれば良いのでしょうか？ 日程やテーマが重ならないようにするなど有効な議論をすすめていきたいです。

(北原氏) 議論の適正な規模の問題があり全てのテーマを全員で議論することは難しいですが、WG の各テーマについてはできるだけ議論の日程をずらして多くの議論を共有できる機会をつくと良いでしょう。

(町長) 国の制度や皆様の声に基づいて、公園エリア、商業エリア、居住エリア、運動公園等まちの土地利用の将来像をお示ししています。これに加え昨年の WG での議論で出していた種に基づきテーマを決定しています。これらの土地利用やテーマは、将来像の下につながっていて、例えば運動公園からまちなかへの回遊と観光を促すにはどうすれば良いか、運動公園のチームと観光のチームが並行して考えていく必要があります。

今後の開催予定

●第3回全体定例会

日時：平成 25 年 10 月 2 日（水）18 時 30 分～20 時 30 分


場所：女川町役場仮設庁舎 2 階第 2 会議室

内容：観光交流エリアと運動公園の検討チームの第 1 回ワーキンググループの内容を説明します。

2つのテーマに対する意向交換をします。

●検討チームワークショップの開催について

※検討チームのスケジュールが決まり次第、随時開催します。

 ワーキンググループに参加してみたい方（町外からのオブザーバー参加含む）、復興まちづくりに対するご意見のある方は、下記までお問い合わせください。

女川町役場 復興推進課 復興調整係 TEL 0225-54-3131（内線 239）